

## OUCC OB会 2018年幹事会 議事録

作成者：山本達也(H26)、小島直也(H18)

日時：2018年5月20日(日)、場所：大阪大学豊中キャンパス 大学会館 2F 203号室会議室

参加者：近藤 時生 (S43) 升谷 保博 (S57) 小島 直也 (H18) 小河 寛明 (H18) 今岡 健吾 (H14) 田中智之 (H25) 小池 康太 (H25) 山本達也 (H26) 野田彩乃 (H26) 渡大地 (H26) 川邊哲也 (H23) 上野利之 (H25, web 参加) (以下、敬称略)

### 1) 平成 29 年度会計

(配布資料の内容を補足) 支払い内訳のうち 29 年度中に支払う見込み額は、幹事会懇親会は約 20,000 円、会場費は 2,000 円、実働部隊謝金は 10,000 円、会計引継ぎ費は 180 円、会報作製費約 200,000 円である。既支払額 321,766 と合わせて計 550,000 円程度が当年の支出となる。

(質疑応答)

- ・会費 2,000 円は活動費と見合う額に設定しているので、赤字原因としては現役活動助成が原因と言える。会費を払っている人と払っていない人にも会報を送っているのも赤字の原因ではないかと思われる。
- ・記念祝賀会で会費を払うように宣伝したが、その後 1, 2 年の納入者数はあまり増えていなかった。
- ・H28 収支差額が合わない。これは、会場費 750000 円 +  $\alpha$  を支出含めていないからだと思われる。それを支出に含めると最終的には問題ない。
- ・会報郵送費が 307 通 (H28) → 307 通 (H29) と変わっていないし、郵送費が変わっているのはおかしいのではないか。また、当年度会費が 476000 円で、一人 2000 円と考えると 238 人となるはずなのに、会報郵送費 307 通は数が合わない。また、4、5、6 回生に対してはタダで郵送しているのも、それも考慮に入れたとしても、 $307 - 238 = 69$  (人) は多すぎではないか？また、送付しないとしても 69 人分の内訳は記載すべき。  
→ 307 通は記載ミスで、何通配布したのかがわかっていない。何通送ったかは今井(名簿管理)が把握しているはずである。後で確認した結果は会長に連絡する。
- ・10 月以降の入金は、来年度(H30)の会費納入として扱う。つまり、当年度会費(H29)476,000 円には含まれていない。10 月以降の入金の記載は、会計報告最終版には記載しない。

### 2) 平成 30 年度会計予算案の提案：

(配布資料の内容補足) 現役助成金に関しては、赤字にならない金額を算出している。

(質疑)

- ・現役の web サーバー代も OB 会から出ており、同様のサーバーを使っている。ただし、最近の現役生はサーバー外のストレージを活用して運営している。必要なサービスに対して、利用しているサービスが妥当であるかを見直し、無駄になっているのであれば妥当なサーバーに変更すべき。→ 今後の課題として検討する。
- ・寄付金 50,000 円をあてに予算を作成するのは良くない。0 円と書き、その結果現役助成金を変更すべき。  
→ 寄付金なしで案を立てると、現役助成金を取ることができない。寄付金を記載した方が現実的な議論ができるのではないかとと思われる。
- ・現役助成金を出すためには支出を減らさなければならない。何か工夫が必要であり、例として会報の名簿欄の簡素化、紙媒体での名簿の撤廃、デジタル化が挙げられた。
- ・7 月末に会計予算案の最終版を作成する。

### 3) H30 年度 OB ランについて

- ・キャッチコピー：リメンバーファンタジー
- ・三連休の土日が評判が良かったので今年もそのように開催する。
- ・宿のクオリティはかなり良い。予算は 13000 円前後を予定。ブルーシート宴会可能。

- ・狩野川周辺をぐるっと回るコースで構成されている。
- ・駐車場は20～30台ほど可能。自転車は許可されている。
- ・入部後20周年、30周年、40周年の会員に熱心な広報活動をすると思われ効果的であると思われる。

#### 4) 関東支部との連携の強化に向けて

(配布資料の内容補足)

- ・関東支部の活発化のためにアピールを強化するために、暫定的なホームページ(HP)が立ち上がっている。
- ・OB会HP内の関東支部ページの管理を、関東支部側でできるようにアクセス権限を付与してほしい。
- ・まずは、OB会のホームページから関東支部のホームページにリンクを飛ばしてほしい。

(質疑)

- ・アクセス権限について、サーバー全体を編集できるようにすべきか、部分的に編集できるようにすべきか。  
→アクセス権の移譲・管理の技術的な問題に関して、対処できる人がいない。  
→詳しい人に相談したほうがいい。
- ・リンクを貼る程度なら決議なしで総会前に実施する。

#### 5) 実働部隊の仕事の説明

編集：

- ・編集に関して何か困ったことはなかったか→dropbox内にあるマニュアルに従えば問題なかった。
- ・pdfの結合ソフトは佐々木が研究室の自前のものを使った。
- ・投稿が受理されたことを、投稿者自身も確認できるようにするべき。例えば、投稿したことを投稿した人がMLへ連絡し、それに対して受け取り側が返事をする。返事が無ければ、投稿者自身が確認にしまわう、等
- ・編集でかかったお金の請求が編集から会計にうまく渡っていなかった。  
→会計側でも支払物のチェックができるよう、年間での支払いリストを持つのも一案。

会計：特になし

名簿管理：

- ・アクセスのやり方が煩雑になっている。アクセスのマニュアルが必要？
- ・若い世代の住所録の把握率が低い。  
→ツアー班以外の方がOB会の存在を知っている人が低いのではないかと。他班の人たちにもOB会を周知していくべき。また、現役助成金もツアー班に偏らないようにしたほうがいいのではないかと。

#### 6) 幹事会決議

会場費：2,000円支払われた。昨年との違いは、土曜→日曜開催となり、講義室が使えなかったためである。

交通費：H28の支出状況にならない、近藤、川邊に対する交通費として、それぞれ13,000円支払われた。

次回からの交通費のルールとしては、今後議論していくべき。

懇親会費：それぞれ半額分(参加人数×2,000円=18,000円)が支払われた。

#### 7) 助成金に関する検討状況

- ・ツアーの支援をするのではなく、共有の機材に対して寄付するのはどうか。また、そういった観点でツアー班だけでなく、他の班からの要望は無いかと→他班にまで範囲を伸ばすのは執行部の負担的に難しい。まずは、ツアー班が何を欲しいのか把握する必要がある。助成金に対する意見収集を含めて、現役生に一度ヒアリングを行う予定。
- ・他班と情報の交換ぐらいならば、始めることは可能かもしれない。